

30年3月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成30年 3月1日～ 30年3月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
3月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		30/3月	4月	5月
入荷動向	国産材製材品	△ 14.3	△ 7.1	△ 7.1
	外材製材品	△ 28.6	△ 28.6	△ 14.3
	その他	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0
販売動向	国産材製材品	△ 16.7	0.0	△ 8.3
	外材製材品	△ 42.9	△ 35.7	△ 21.4
	その他	0.0	△ 20.0	△ 20.0
在庫動向	国産材製材品	△ 7.1	7.1	7.1
	外材製材品	△ 7.1	△ 21.4	△ 14.3
	その他	0.0	△ 10.0	△ 10.0

・国産材製材品、外材製材品、その他の入荷動向は3カ月連続減少。

・国産材製材品の販売動向は3月の減少から4月は横ばい、5月は再び減少に。外材製材品は3カ月連続減少。その他は3月の横ばいから4月、5月は減少に。

・国産材製材品の在庫動向は3月の減少から4月、5月は増加に。外材製材品は3カ月連続減少。その他は3月の横ばいから4月、5月は減少に。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		30/3月	4月	5月
スギ	柱角 KD10.5×3	28.6	21.4	14.3
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	8.3	0.0	0.0
	母屋角	14.3	7.1	7.1
	タルキ	21.4	14.3	14.3
	間柱	14.3	14.3	14.3
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	14.3	0.0	0.0
平割	7.1	7.1	14.3	
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	25.0	8.3	16.7
	柱角 KD12×3	33.3	8.3	16.7
	土台角 10.5×4	41.7	33.3	25.0
	土台角 12×4	41.7	25.0	16.7
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
カマツ土台角10.5×4	—	—	—	
米マツ平角	37.5	12.5	12.5	
米マツ割物	50.0	25.0	25.0	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	25.0	0.0	0.0	

・スギ柱角KD10.5×3は品薄により強含み。その他は需要が弱く横ばい。

・ヒノキKD柱角、土台角は素材不足のため強含み。

・米マツ平角、割物は強含み。

・北洋エゾマツ・アカマツタルキは横ばい。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・1、2月に比べると回復基調も先行きは厳しい見方（中部）。
- ・スギ90角やバタ角等入荷悪い。米ツガ、WW一部、アカマツ一部、SPP一部、LVL等入荷悪い。販売は全体的に動きは静か。在庫は、スギ入荷悪く在庫は少なめ。外材は入荷が悪いと値上がりがあるので、買える時は買っているため在庫は少し多目（関東）。
- ・入荷全般的に弱い。販売は国産残が横ばい。外材から国産材に変更しつつあるが、物量は減少している。在庫は内地材、外材ともに減少している。需要が弱い（中部）。

(価格動向)

- ・スギ柱角（KD10.5cm）60,000円/m³、（KD12.0cm）60,000円/m³、スギ桁角（東北材グリーンラフ）42,000円/m³、母屋角（東北材二等）30,000円/m³、スギタルキ（東北材）45,000円/m³、スギ間柱（特-KD）60,000円/m³、スギ加工板（東北グリーン材）束2,800円、（KD）束4,800円、スギヌキ（東北材）42,000円/m³、秋田材50,000円/m³ スギ平割（プレーナー）45,000円/m³、同（ラフ）43,000円/m³、ヒノキ柱角（KD）・土台角10.5cm、12.5cm 85,000円/m³、米マツ平角 KD 70,000円/m³、米マツAD 72,000円/m³、北洋アカマツタルキ（アSEMBル単価）（S）70,000円/m³、（P）60,000円/m³、（バンドル単価）（S）68,000円/m³、（P）58,000円/m³（関東）。
- ・スギは全般に産地は高唱えも大工・工務店筋は需要盛り上がりせず単価は通りにくい。10.5巾は品薄にて強い。ヒノキは引き続き素材減により強気配も単価は通りづらい（中部）。
- ・スギ柱角、土台角は需要が弱く現状維持。タルキ、間柱、加工板等は、構造材と同じような動き。ヒノキ柱角、土台角は丸太不足からか価格が強い。しばらく続く見通し。米マツ平角、割物は大手が値上げをしたいが、需要が弱いため、4月は横ばいの見通し。北洋エゾマツ・アカマツタルキは需要が弱い（中部）。
- ・スギの角類が強含み。ヒノキは10.5×4m土台角不足のため強含み。米マツ平角、割物はメーカーの値上続く（大坂）。